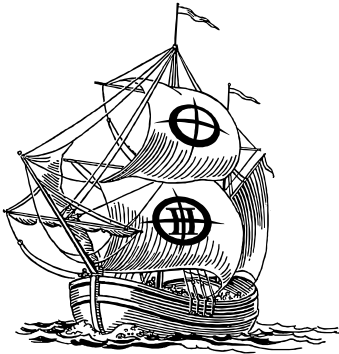


航海日誌



高次脳機能障害・中途障害の方たちの 生きがいくりの場、社会参加の場



工房「羅針盤」

〒560-0052 豊中市春日町3-1-41

TEL :06 (6152) 4770

FAX :06 (6152) 4771

E-mail :rasinban@ceres.ocn.ne.jp

URL :http://koubou-rashinban.com

第2工房「羅針盤」

〒561-0808 豊中市原田元町2-25-21

TEL :06 (4865) 5525

FAX :06 (4865) 5526

E-mail :rasinban1@vanilla.ocn.ne.jp

URL :http://koubou-rashinban.com



原田こども園

木工教室卒業式&

卒業制作贈呈式



2月誕生日会



2月の誕生日会は、原田こども園の園児をゲストに迎え開催しました。木工教室で制作した指針台(教卓)の贈呈式と、卒業式をおこないました。今年度も木工教室を5回開き、取り組んできたことを紹介できる機会にもなりました。

まず、こどもたちから歌のプレゼントがあり、皆さん手拍子をしながら聞き入っておられました。いつも元気いっぱいのこどもたちも、大勢の大人の前では少し緊張した様子が伝わってきました。大きな声で一生懸命に歌ってくれるこどもたちから感動とパワーをもらいました。



第2工房「羅針盤」 今西



さて、いよいよ指針台の贈呈式です。完成した指針台をみて、こどもたちが喜んでいただけたのはもちろんもちろん、先生方も喜ばれていました。こどもたちと利用者の方と一からつくった指針台は格別です！

そして最後に1年間頑張った取り組みでくれた、こどもたちに卒業式をとりおこないました。卒業証書は紙漉きでつくった紙を使用し制作しました。ひとりひとりの名前を読み上げ卒業証書の授与です。こどもたちの元気な「ありがとう！」がとてもうれしく感じました。

最後は恒例のハイタッチをしてお別れです。これからも地域により根付いている作業所を目指して木工教室を続けていきたいと思っています。来年度も楽しみます！

高次脳機能障害の方のためのグループホーム設立にご協力いただき、ありがとうございました。

豊中市役所からの注文商品を紹介



グラスアート&ブックカバー

1月13日(金)豊中市文化芸術センターにて豊中市都市デザイン賞・まちなみ市民賞表彰式が執り行われました。良好な都市景観形成を先導するデザイン性豊かな建物等や活動が顕彰され、工房「羅針盤」グラスアート班でデザイン賞の記念品を受注しました。第8回となる今回は昨年キャンドルロードでお世話になった「千里キャンドルロード」さんの活動が受賞をされています。

曲線の五線紙に音符を重ねたデザインを施し他面にはマチカネくんもあります。一つひとつの工程が手作業で、毎回細い線の加工にはミスが無いが慎重におこないます。角度によりデザインが浮き上がる様、彫刻の際も同じように一定の吹付加工をおこないません。製版から彫刻、仕上げまで利用者の方が分担をして無事に納品を済ませました。

これまでもたくさん注文をいただいています。商品を手に取り喜ばれる様子を思い浮かべ、それを励みにこれからも丁寧に「心をこめて…」商品づくりを目指していきます。



工房「羅針盤」 磯島

記念品のフラワーベース(花瓶)

昨年6月、豊中市から「ふるさと納税」の返礼品として、ブックカバーの制作依頼がありました。兵庫県の武庫川女子短期大学と共同企画ということで、3カ所の事業所が携わり、縫製とラッピングの工程を担当することになりました。

256個の制作ということで、期限内に納品できるか、細かな縫製部分の仕上げなどに不安がありました。初めは手探りでおこなっていた作業ですが、大学の先生にもアドバイスをいただき、完成度の高い仕上がりになりました。送付した納税者の方からも喜びの声をいただいているようです。

制作に携わった利用者の声

第2工房「羅針盤」原

豊中市からの依頼ということで、はじめはプレッシャーがありました。市役所の方や、大学の先生・生徒さんが来られたり、たくさんの方が関わっていたので、自分にできるか不安でした。

最初は布の切り方を間違えたり、ミシンが斜めになったり、サイズが合わなかったり苦労しました。でも、たくさん仕上げていくうちに手際よく進められるようになって、最終的に256個全部納めることができて達成感がありました。

田端



↑ Book cover



昨年からの委託販売の依頼をさせていただいている「雑貨スマイル」さんをご紹介します。明るく雰囲気の良い店内には服飾雑貨やキッチンアイテム、ベビーアイテムなど、50名近くの作家さんの手づくりの商品が賑やかに並べられています。現在、布ぞうりや木工製品、アクセサリーなどを置かせていただいています。皆さまぜひお立ち寄りください。第2工房「羅針盤」林

豊中市待兼山町 37-1
営業時間：10:30-16:30
定休日：水・土・日・祝

Smile



ハートtoハート in イオン茨木

工房「羅針盤」三成



春の足音が近づく中、今年もハートtoハートから出店のお誘いがある工房「羅針盤」・第2工房「羅針盤」ともに出店をさせていただきました。私が訪れた時は売れ行きが上々のようで、嬉しいことづくめで、「出ている分だけ」になっていました。

もう一つ嬉しいことがありました。私が売場の整理をしていると、一組の親子がクッキーせんべいを見て、「おいしそう〜!」と言ってご購入下さいました。また、当番の作業所職員の方からはラシドを見て、「ドーナツのパッケージのデザインがおしゃれですね。」との言葉をいただきました。日々利用者の方と、味やデザインについて考え形にしていることが評価されていることが分かり、嬉しく思いました。今後も利用者の方と一緒に良い商品を考えていきたいと思えます。

たこ焼きPARTY



毎月1回開催している誕生日会のイベントとして、2月23日(木)にたこ焼きパーティーをおこないました。2日前から買い物に出かけ、リクエスTのあった具材をそろえ、前日には具材すべてをカットし、次の日のたこ焼きパーティーに備えました。具材にはタコはもちろん、羅針盤では定番となりつつある明太子とチーズ、そのほかキムチやソーセージ、ちくわを用意しました。当日は皆さんのお好みの具材を入れ、または具材の全部を贅沢に山盛りにして、苦労して丸めあげたたこ焼きをソースやポン酢で、また「おだし」で明石焼き風にたっぷりと楽しめました。大阪では一家に一台のたこ焼き器ですが、府外出身の方には初めてたこ焼きを転がすという方もおられ、たこ焼き屋さんかと思われる利用者の方がレクチャーするという場面もあり、所内での良い交流の場となったのではないのでしょうか。次回はどんな具材にしようかと皆さん、今から楽しみにされています。

工房「羅針盤」牧



所内研修

ノロウイルスについて

和歌山でノロウイルスの集団食中毒が発生するなど、例年この時期には感染性胃腸炎が猛威を振るっています。第2工房「羅針盤」では感染を防ぐため、ノロウイルスの講習会を開催しました。便やお吐物から感染が広がることが多いため、感染廃棄物の処理の仕方を中心に学びました。担当職員からの説明という予定でしたが、介護施設で働いた経験のある職員もあり、知っていることを出し合って、お互いに理解を深めることができました。

学びの中で出てきたのは、手洗いの重要性です。インフルエンザや通常の風邪の対応でも手洗いはしっかりと励行されています。ノロウイルス対策の3大原則は「つけない・増やさない・やっつける」です。手洗いはウイルスをつけないことにつながります。手洗いを習慣化し、感染症予防に取り組んでいきます。

第2工房「羅針盤」天野



自主製品紹介



命の季節

厳しい寒さも和らぎ、じわじわかな春の便りが風に乗ってやってくる。家に閉じこもっているのが勿体なくなり、ついつい外出してみたくなる。しかし、昨年からの痛風を発症した可哀そうな私は、自宅で冬眠、いや療養しなければならず、なかなか外出できず이었다。その結果、尿酸値やコレステロール値も順調に増え、主治医からは積極的に動けと怒られる始末。この間も栄養士による食事指導を30分も受けることとなり、私の生活のほぼ全てを完膚なきまでに否定され、泣き腫らした▼さて、毎年この季節になると、どの店でも新生活に向けた売出しをおこなっている。量販店などでは普段あまの見慣れない一人用の冷蔵庫や洗濯機、そして家具などが店頭にブラッと並べられている。進学や就職などで親元から離れて、期待と不安の中、見知らぬ街での一人暮らし。そんな雰囲気街を歩いていても感じる。私もはじめての一人暮らしのときは、見るもの聞くものすべてが新鮮で世界が広がったように感じて、心が躍ったものだ(ちなみに今でも一人で暮らしているが、それがどうした)▼そして春は別れの季節でもある。新しい生活と引き換えに、これまでの暮らしと別れなければならない。人々の様々な感情が交差する季節だからこそ、春はあたたかいのかもしれない。そして私も今春でようやく50歳。人生の節目を機に、夕食は豆腐とサラダだけにしろ、肉は食べるな、ジュースは買わない、入浴後のアイスは禁止、チョコレートをつまみながら仕事をするな、とにかくこれ以上太るな、との栄養士の血も涙もない言葉を守って、新生活を始める…だろう。(山)